

令和4年度 御杖村社会福祉協議会 事業報告書

総 括

近年、少子高齢化や核家族化の進行による高齢者のみの世帯の増加、また個人の価値観やライフスタイルが多様化し、住民が支え、支えられるという社会的なつながりが希薄化するとともに、生活に不安を抱き、支援を求める人が増えています。こうした社会の変化を背景に、ひきこもりや孤独死、自殺、DVや虐待、生活困窮、子どもの貧困など福祉を取り巻く地域の課題は、多様化、複雑化しています。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大、長期化は多くの地域活動にも休止や見直しといった大きな影響をもたらしました。

このような社会情勢のなか、当社会福祉協議会では、地域活動の再開へ向けた支援、新たな困窮者への支援等、従来と異なる状況から課題を捉え、地域住民をはじめ、関係機関・団体とともに、地域課題や生活課題の解決に向け取組を進めてきました。

とくに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった世帯へ実施されている緊急小口資金等の特例貸付は、累次の実施期間の延長が9月まで行われました。また、住民の日常生活を支える交通手段としてのデマンド交通は、新型コロナワクチン接種送迎により利用者が増となりました。

昨年に引き続き、村から委託されている地域包括支援センターをはじめ、住民のニーズを的確に捉え、村・社会福祉施設・民生児童委員協議会・保健医療機関等との連携を密にし、本協議会が地域の福祉力を支える専門機関として、下記のとおり各種事業の推進を行い、地域福祉のより一層の充実と安定を図りました。

1. 職員の資質の向上

- 研修に出席し、職員の資質及び意識の向上を図る。

地域包括、介護予防関係

感染症ケアマネジメント研修会、多職種連携会議、地域包括ケアシステム推進連絡会、ケアマネ更新研修

障害者（児）関係

発達障害の理解と支援、相談支援従事者現任研修

権利擁護、日赤・共同募金関係

日常生活自立支援事業担当者連絡会、成年後見制度利用促進体制整備研修会、奈良県内社協職員連絡会、赤十字事務担当者会議、赤い羽根運動研修会、その他社協関係

2. 福祉活動、福祉思想の普及

- 第44回御杖村社会福祉大会の開催
- 日本赤十字募金運動の実施（5月）募金額 294,000円（△500）
- 共同募金運動の実施（10月）募金額 199,140円（△2,610）
- ボランティアグループによるふれあい喫茶の運営 毎月2回実施

3. 地域福祉活動の充実向上

- 在宅福祉サービス事業の推進

・地域福祉ネットワーク事業

ボランティア登録の推進（4団体67名登録）

地域サロン活動（元気にしとる会）の推進、支援

8地域で適宜実施（神末一中村・敷津、菅野一上郷中野

土屋原一堂前・水口・峯・中村、桃俣一全域）

延べ参加者 418名（222名増）

・生活支援事業

サポーター14名 利用者22名

生活支援227回 配食サービス130回

・子供学習支援事業

子供が孤立することなく育まれる環境作り、子供の学力向上及び
子供やその家庭が抱える問題解決に向けた支援

対象者3人 16回実施

○ 障害福祉サービス事業の推進

・障害者、障害児相談支援 18名

4. 介護保険事業等の実施

○ 地域包括支援センター事業の運営

・相談受付業務（新規） 26件

・介護予防支援事業（要支援者の予防プラン作成）—委託含む

延べ599件（62件減）

○ 居宅介護支援事業

・要介護者の介護プラン作成 延べ441件（76件減）

5. 過疎地有償運送事業（デマンド交通）の運営

・利用者登録者数 202名（新規登録18名）

・利用実績 231日稼動 延べ1,641名が利用（182名増）

6. 会務運営

○ 理事会の開催

- 令和4年6月7日（令和3年度事業報告、決算の承認等）
- 令和5年3月23日（令和5年度事業計画、予算の承認等）

○ 評議員会の開催

- 令和4年6月22日（令和3年度事業報告、決算の承認等）
- 令和5年3月28日（令和5年度事業計画、予算の承認等）

○ 評議員選任、解任委員会の開催

- 令和4年6月28日（評議員の選任）

○ その他

- 民生児童委員協議会及び福祉関係団体との連絡調整
- 村老人クラブ連合会運営に関する業務
- 身体障害者福祉協議会及び母子寡婦福祉会の事務局
- 高齢者文化教室（手芸、囲碁将棋教室等）運営に関する業務
- 生活福祉資金貸付に関する業務
- 善意銀行に関する業務
- 新型コロナウイルス感染症に対する取組